

梯川水系流域治水プロジェクト【素案】

～水の郷こまつを洪水氾濫からまもる流域治水の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、梯川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和34年台風7号と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■河川における対策

国の対策内容 堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等
※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

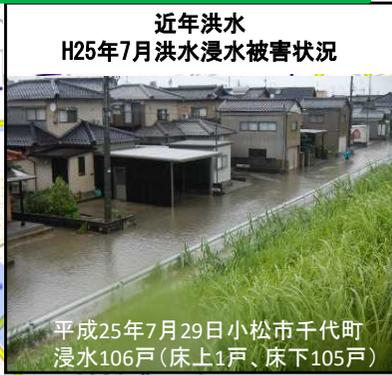
■流域における対策のイメージ

・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
・既存ダムの洪水調節機能の強化
・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策のイメージ

・水位計・監視カメラの設置
・マイ・タイムラインの作成 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

石川県



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。